

相模原市民若葉まつり

2023年5月13日(土)14日(日)

かんきょうフェア2023で体験イベントを実施しました

多くの人でにぎわった「相模原市民若葉まつり」。その一環で4年ぶりに開催された「かんきょうフェア2023」にて「エコパークさがみはら」として3つの体験イベントを実施しました。会場には2日間で1,000名をこえるご家族連れが来場され、さまざまな体験を通じて楽しみながら、「エネルギーの大切さ」、「リサイクル活動の成果」、「相模原市内の自然環境」を学んでいただきました。

自転車発電体験

自転車をこいで電球の点灯にチャレンジ!



子ども向け自転車発電は発電すると子熊が笛と太鼓ではげましてくれます



お父さんもがんばって電球全部点灯できました!

リサイクル定規づくり

廃プラスチックから定規をつくらう! 【協力:(株)パイロットコーポレーション】



ボールペンなどの廃プラスチックを熱して定規の型にギュッと押し込みます。



型をはずせばリサイクル定規の完成! フェアの記念になりました。

相模原市自然環境観察員制度ご紹介

タンポポの花粉をけんび鏡で見てみよう! [相模原市自然環境観察員活動「タンポポの分布調査」より]



自然環境観察員がタンポポの持ちようや分布を丁寧に説明しました。



けんび鏡でタンポポの花粉を熱心に観察。

環境のちよこつと話

せまりくる台湾リスの被害と影響

台湾リスは神奈川県内で10万匹も生息していると推定されています。台湾リスは通称で和名は「クリハラリス」、原産地はインド・中国・台湾です。1935年以降に動物園やペットとして飼育されていた個体が逃げ出して野生化しました。台湾リスはニホンリスよりひと回り大きく、耳が丸くて短いのが特徴です。食性は雑食で果実など植物系のエサ以外にこん虫も食べます。また、樹皮をはいで樹液も食し、繁殖力も大変強いです。特定外来生物に指定されていて、その被害や影響は、①果実など農作物、②戸ぶくろや電線をかじるなどヒトの生活環境、③市内にもいるニホンリスをはじめとした在来種のすみかや食べ物をめぐる競合などがあげられます。

一方、「鳥獣保護管理法」により自治体の許可なく駆除はできません。台湾リスを見かけてもかわいいからといって餌付けなどはしないでください。



エコパークさがみはら

(相模原市立環境情報センター)

〒252-0236
相模原市中央区富士見 1丁目3番4-1号
TEL.042-769-9248 FAX.042-751-2036

- Eメール ecopark-sagamihara@mdlife.co.jp
- ホームページ <http://www.ecopark-sagamihara.com/>
- 開所時間 午前9時～午後5時
- 休所日 毎週木曜日、年末年始、施設点検日



交通

- JR相模原駅から
 - ①徒歩約20分
 - ②バス「市役所前」下車徒歩2分
「ウェルネスさがみはら前」下車すぐ
- JR上溝駅から
 - ①バス「市役所前」下車徒歩2分
- 車でお越しの方
エコパークさがみはら及び周辺の市役所駐車場をご利用ください(2密回避のため駐車は無料)

なるべく公共の交通機関をご利用ください。

いかがでしたか? エコパークさがみはらには、他にもいろいろなテーマのNEWSのバックナンバーがありますので、ぜひお立ち寄りください。

この印刷物の紙は、環境に配慮した再生紙を使用しています

令和5年7月1日発行 発行:エコパークさがみはら 指定管理者 三菱電機ライフサービス株式会社



どうする 外来種

ワルモノ? どうして日本にいるの? がいらいしゅ 从哪里来たの? 怖い?

外来種ってなんだろう?



外来種はいると困るの?



さがみはら 相模原市にもいるのかな

心配だよわ

外来種という言葉聞いたことがありますか?

外来種とは、もともとその地域にいなかったのに、人間の活動によって他の地域から持ちこまれてしまった生物種のことをいいます。外国からだけでなく、国内の他の地域から持ちこまれたものもふくまれ、それらは国内外来種といいます。

外来種すべてが何か問題を起こしているわけではありません。しかし、外来種の中には、日本にもともといた生きもの(在来種)を食べてしまったり、在来種のすみかや食べ物をうばったり、外来種と在来種の雑種ができてしまうなどのほかに、人をかんだり、さしたり、毒をもっていたりするものもあります。

特に大きな被害をおよぼすおそれのある外来種は、**特定外来生物**として法律で指定されており、飼育・さいばい、運搬、保管、輸入、野外へにがしたり、植えたりすること、ゆずりわたすことが禁止されています。

さがみはら 相模原市にいる主な特定外来生物



外来種って悪いヤツなの？



外来種は人間の活動により、日本に連れてこられてしまったので、外来種が悪いわけではありません。人間が原因となっているため、外来種がこれ以上増えたり、広がったりしないように責任を持って行動する必要があります。

外来種被害を防ぐために……



外来種被害予防三原則

- ① むやみに他の地域に入れない。
- ② 飼っている外来種を捨てない。
- ③ 他の地域にひろげない。

外来種被害予防三原則を守りましょう。つかまえた生きものをつかまえた場所以外に放したり、飼っている外来種を捨てたりしないようにしましょう。まずは、外来種をふくめ、生きもののごとをよく知ることも大切です。

日本にきた理由

ペット、観賞用として

アライグマ



生息地：北アメリカ～中央アメリカ
市内に定着
雑食性で他の生物や農作物を食べたりします。ウイルスや寄生虫などの病原体を持っていたり、かまれたりする危険があります。

ソウシチョウ



生息地：東アジア、東南アジア
市内に定着
メジロやウグイスと同じような環境を利用するため、すみかや食べ物うばってしまうおそれがあります。

カミツキガメ



生息地：北アメリカ～中央アメリカ
市内に定着していないが、時々見つかる
在来種をふくむ魚類や両生類などを食べてしまいます。かむ力が強く、かまれる危険があります。

アカボシゴマダラ



生息地：東アジア、ベトナム北部
市内に定着
奄美諸島に生息しているものは在来種で特定外来生物ではありません。幼虫はエノキの葉を食べ、同じ葉を食べるオオムラサキ、ゴマダラチョウなどの在来種を追い出してしまうおそれがあります。

きれいだからみやしたのと思った人が、野外に放してしまいました。

日本にきた理由

輸入品にまぎれるなどして

ハイロゴケグモ



生息地：オーストラリア、中央・南アメリカ、太平洋の島々
市内に定着していると考えられる
ブロックやフェンスのすき間、自動販売機やエアコン室外機の下などにいます。毒を持っており、かまれる危険があります。

アレチウリ



生息地：北アメリカ
市内に定着
つるをのばして他の植物をおおってしまうため、もともと生育していた植物の生える場所がうばわれてしまいます。

日本にきた理由

つり、食料にするなどの目的で

オオクチバス



生息地：北アメリカ
市内に定着
在来種をふくむ魚類、エビ・ザリガニ類、水生こん虫などを食べてしまいます。卵をたくさん(2,000~145,000個)産み、数が増えるのも早いです。

はじめて日本で放流されたのは神奈川県でよ



わたしたちができることを考えてみよう

生きものはさいごまで責任を持って飼おう

生きものを飼う場合は、その生きものがじゅ命をむかえるまで責任を持って飼いましょう。

ふだん見かけない生きものを見つけたら報告しよう

市内の外来生物情報を博物館に報告することで、外来生物の広がりを分せきしたり、対策を考えたりすることができます。

相模原市立博物館 <https://sagamiharacitymuseum.jp/>
TEL. 042-750-8030 FAX. 042-750-8061



昆虫にも外来種がいるよ



2023年6月1日から

アカミミガメ、アメリカザリガニが条件付特定外来生物になりました。



みなさんの身近にもいるアカミミガメ、アメリカザリガニが2023年の6月から条件付特定外来生物になりました。

- これまでどおり飼うことができます。
- じゅ命を終えるまで責任を持って飼いましょう。

飼い続けることができなくなった場合は

- 大切に飼ってくださる人にゆずることができます。
- たくさんの人に配ることはできません。
- 野外に放したり、にがしたりすることは法律で禁止されています。

アカミミガメ



生息地：アメリカ東南部からメキシコ
市内に定着

雑食性で在来種をふくむ水草、魚類、エビ・ザリガニ類、水生こん虫、貝類などさまざまなものを食べます。在来のカメ類のすみかや食べ物をうばったり、卵を食べてしまったりします。

アメリカザリガニ



生息地：北アメリカ
市内に定着

雑食性で在来種をふくむ水草、魚類、両生類、水生こん虫、貝類などさまざまなものを食べます。水草が食べられると水中にすむ生きものは卵を産み付けたり、かくれたりする場所がなくなってしまいます。

生きもの観察をして生きものを知ろう

相模原市立博物館では定期的に「生きものミニサロン」を開かれています。博物館周辺の生きものを季節ごとに観察します。参加して生きものごとのいろいろ調べてみましょう。



相模原市立博物館「生きものミニサロン」
https://sagamiharacitymuseum.jp/event/mini_kansatsukai/

市内の自然観察をして生きものを知ろう

自然観察イベントをはじめ、さまざまな講座を開かれています。外来種に関する本も多数あります。エコパークさがみはら <http://www.ecopark-sagamihara.com/>



「知る」は、生きものへの大事なこと